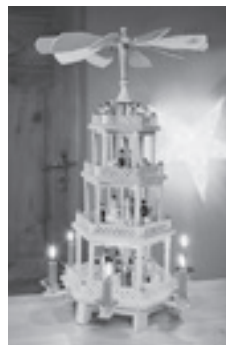


国際交流員

エルクさんの

MORIYA
滞在記

エルツ山地のクリスマス飾り



あつという間に一年が経ち、もう私の大大だうい好きなクリスマスシーズンがやってきました。この時期、日本でもきれいなクリスマスツリーと色とりどりのイルミネーションが目立ち、クリスマスの歌がどこでも聞こえて、私の心は何となく温まります。クリスマスツリーやチャイコフスキー作曲のバレエで有名になったドイツのくるみ割り人形などが、クリスマス飾りとして日本でも知られています。紹介したいと思います。

この飾りは、全てドイツとチェコの国境にあるエルツ山地で作られており、2000年ほど前に初めて作

られました。エルツ山地は中世から鉱山として有名ですが、17世紀に地下資源が次第になくなり、産業は主に木・金属・布を使う手工業に代わりました。やがて、そのクリスマス飾りがドイツで有名になりました。

① クリスマスピラミッド

クリスマスには、ろうそくがよく使われます。クリスマススピラミッドは、ろうそくで温められた空気による上昇気流で回転翼が動くとともに、さまざまな像が乗っている下のプレートも動くようになっています。

② Schwebbogen

これは、特に住宅の窓でよく見かける飾りです。ろうそく（現代は電球）を乗せる木や金属から作ったアーチ状に細工が施された燭台で、下にいろいろなモチーフがついています。伝統的にはエルツ山地の鉱山



労働者・職人などがありますが、聖書のシーンや冬景色なども用いられるようになりました。

③ 煙男

クリスマスシーズンには、香をたくこともよくあります（ですから、私は日本のお寺でよくクリスマスを思い起こします）。今回紹介する飾りの中で、私は煙男が一番好きです。さまざまな伝統的な職業の制服を着た、中が空洞になっている木の像で、下半身の上に円すいの香を置いてたき、上半身をかぶせると、パイプを持つている人形の口からいい香りの煙が出て、本当にパイプを吸っているかのようです。



私は今年、3年ぶりにドイツに帰って、ピラミッド・燭台・煙男を飾りながら、家族とクリスマスを過ごせます。それが今から楽しみです。でなりません！◎

みんなで楽しく エコライフ！

冬の省エネ・節電にご協力をお願いします

●問合先 市役所生活環境課 内線144

○暖房時室温は20℃以下を目安に！

・暖房に頼り過ぎず、保温効果の高いインナーウェアや、マフラー・スカーフ・ひざ掛けなど暖かな服装を心掛けましょう。

・家族が一つの部屋に集まって、暖房を共有しましょう。

○スイッチオフで電気使用は最小限に！

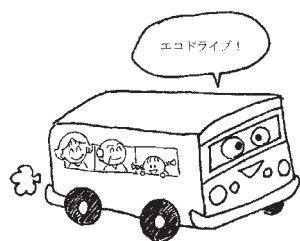
・人のいない部屋の照明は、可能な限り消しましょう。
・照明の間引きや照度の調整を行うとともに、消費電力の少ないLED電球や、電球形蛍光灯ランプへ取り替えましょう。

○ふんわりアクセル エコドライブを実践！

・アイドリングストップ、やさしい発進、加減速の少ない運転などの二酸化炭素削減・燃費向上につながる運転をしましょう。

・渋滞を避け、余裕をもって出発しましょう。

・エアコンの使用は適切に行いましょう。



法務大臣表彰受章



人権擁護委員のなか島春野氏が、法務大臣表彰を受章されました。

永年にわたり人権擁護委員を務め、相談活動や啓発活動に対する功績が認められたものです。おめでとうございます。